



各事業所代表の利用者さんと新年祈願

施設長 松浦光毅

2000年代に入り、「20〇〇年問題」という言葉をよく見聞きするようになりました。社会福祉の分野においては、2025年問題や2040年問題が代表的ですが、社会全体で見るとほぼ毎年のように「20〇〇年問題」が存在します。最近では、10年後や20年後の日本の未来を悲観的論調で予測する憂慮本がベストセラーになっています。高齢化や少子化、人口減少、地方消滅、格差の拡大、国際問題、気候変動、自然災害…と枚挙にいとまがありません。

その中で、障害福祉関連の問題については私たちも責任主体だと心得ています。「悲観的に準備し、楽観的に対処せよ」という危機管理の鉄則があります。最悪の事態を想定しながらも、明るい豊かな未来を信じて前向きに行動していきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

この度の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された皆様、また、ご家族・関係者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

## 『スーパーバイザー研修を終えて』

生活支援員 山本貴寛

スーパービジョンとは、積極的に取り入れる事でたくさんの方のメリットが得られる有効な指導方法・対人援助の事です。

新人職員やサポートを必要としている職員等(スーパーバイザー)を、管理者やリーダー、育成担当者等(スーパーバイザー)がサポートやアドバイスを行っていく事を基本として、バイザーの挫折やバーンアウト(燃え尽き症候群)をケアしていく事も目的としています。

今回、スーパーバイザー養成研修会に4日間参加させて頂きました。研修会全体を通して、スーパービジョンの重要性と人材育成や人材活用のプロセスを学ぶ事が出来ました。スーパービジョンが上手くいくかどうかは、バイザーとバイザーとの関係(Sv関係)の在り方が重要である事。この関係は、当事者(利用者さん)や後輩(新しいSv関係)にそのまま連鎖します。

これは子育てにも似ていて、親から教わった事を自分の子にも同じ事を

し、その子は周りにも同じ事をするのと同じ事です。

このSv関係をより良いものにする為には、バイザーの溜まった不安や葛藤を小出しに吐き出してもらう事が大事です。これは、人に話す事で少しずつ解消させるということです。

ここで難しいのが、自分の気持ちを吐き出してもらった道のりです。

話しやすい雰囲気を作る事や否定をしない事(自己肯定感を高める)、相手の話を理解するまで助言はしない(自分の考えを吐き出してもらう為)、経過を定期的に尋ねる(気に掛けている)等のいくつかの方法があります。そこに行きつくまでの信頼関係の構築を今後関わる人達と行っていかれたらと考えます。

スーパービジョンを行う際、上から覗いて引っぱり上げるイメージでは上手くいきません。どんな景色が見えているのか? 同じ景色を見ながら一緒に上がっていく事が理想となります。

新人職員に限らず、中堅職員やベテラン職員等、誰しもがサポートを必要としています。周囲の人の気持ちの変化に気付き、適格なサポートが出来る人材に今後なっていきたいです。

## 『発達障害連続講座を受講して』

生活支援員 松本蛸太

令和4年の7月から発達障害連続講座を受講させていただきました。

1回目の講義では「発達障害とは何か、適切な支援方法とはどういうものか」という題材で、まず発達障害とは脳の働きの一部分の不全や違いにより起こるものだそうです。

また、主な障がい例としてADHD(注意欠如多動症)、SLD(限局性学習症)、ASD(自閉スペクトラム症)の3種類が挙げられます。

いずれも適切な支援方法は違いADHDの方は最後までやりきる経験を積む事や褒める事が重要とされ、SLDの方は計算や書く事を苦手としますが、聴覚・視覚情報に優れているので聴覚・視覚的支援を行う事が重要です。

そしてASDの方は、コミュニケーションを苦手とし、抽象的な文面や発言からその背景を汲み取ることが難しいので具体的に肯定的な言葉で伝える事が重要だそうです。

それぞれ支援方法が違う様にも思えますが、共通認識としてその方の性

格を知る事が大事だと話されています。

2回目、3回目の講義ではASDの方にフォーカスを当て「学習スタイルに応じた支援の組み立て、学び方に基づく支援の組み立て」という題材でグループワークを交え他施設職員と意見交換を行いました。

伝達手段は何か、学習を提示する適切な時間、場所はどうか、開始の合図・終わるタイミングはどうするかを色んな場面の問題形式で分かりやすく説明していただきました。

普段支援する中で難しい部分まで深く意識せず支援を行ってききました。が、今回の講義でそれぞれ得意・不得意な分野は様々である事、ルーティンを取り入れる事によりスムーズな生活、混乱や興奮、自傷、他害に繋がるリスクも軽減できる事、また、その都度適切な支援を利用者に合わせながら変更していくことも大事だと知るいい経験になりました。

私自身、障がい者施設に従事してまだ4年程です。利用者の方々に楽しく過ごしてもらえ、自分も楽しみながら支援を行っていききたいと思えます。

# Life At Nankairyo

2023NOV.~2024JAN.

11/23

## 本町ふるさとまつり

4年ぶりに開催された本町ふるさとまつりに参加しました。南海寮は例年おなじみの焼きとうもろこしと、日々の作業で作成した手芸品や木工品、花苗などを販売させていただきました。当日は季節外れの暖かさで利用者さんもゆっくりとお祭りを楽しむことが出来ました。



12/5

## 歌う坂本龍馬プロジェクト・ホスピタルライブ

全国の病院・福祉施設でホスピタルライブを開催されている「歌う坂本龍馬」こと松尾貴臣さんが5年ぶりに南海寮にいらっしゃいました。当日は皆さん馴染みの童謡や歌謡曲を披露してくださり、会場は歌に踊りに大盛り上がりでした。



12/7

## 菓子販売

毎月利用者さんの楽しみである行事の一つです。楽しみ過ぎて菓子販売の日は朝からソワソワする方も…。これまで田中飴本舗様に商品の準備から販売までご協力いただきましたが、12月の販売をもって終了となりました。名残惜しいですが、長い間ありがとうございました。またいつでも遊びに来てください。



# 12/6 ~17 木彫・かずら工芸展見学

南海寮グループホームの世話人として勤務されている堤田美枝子さんの木彫・かずら工芸品展がギャラリー四季で開催されました。草花をモチーフにしたベンチや姿見など 40 点以上の作品を展示され、趣味の域を超えた作品の数々に皆さん見とれていたようでした。



# 12/14 餅つき忘年会

年末恒例の一大イベント。朝からの餅つきは天草警察署の署員さんにもご協力いただき、美味しいお餅がたくさん出来ました。昼食には豪華な食事を囲んでの食事会。飲んで、食べて、歌って、楽しく一年を締めくることができました。



# 1/9 どんどや

年男、年女による火入れでスタート！パンパンと音を立て勢いよく燃え上がり、今年一年の無病息災をみんなでお祈りしました。年末についた餅も美味しく頂きました。



新年  
企画

年男、年女に聞きました！

今年の抱負なんですか？

が利用者さん が職員です



2024年  
の抱負

1人でいいもので  
ローソン、7594-マート  
ドラモリにいきました  
おなごがはるかにあそびます

山川 諒

2024年  
の抱負

げんきに  
すごします  
川端ふさ子

2024年  
の抱負

学習を  
がんばります  
平山 菜穂

2024年  
の抱負

孫に会いに行く！  
門東 大輔



2024年  
の抱負

笑顔でいます。  
みんな仲良くすごします。  
お掃除の予定は  
天張り餅!!  
今年もよろしくお祈りします  
お野山 菜子

2024年  
の抱負

ほごも  
ダイエーにする  
堀田 裕

2024年  
の抱負

2人目出産がんばります!  
田川 あゆ



2024年  
の抱負

サッカー日本代表おうえんする  
家のそばでだいごんはる元  
兵 啓 昭

2024年  
の抱負

ピース作り  
がんばります♡  
桂木 美砂子

2024年  
の抱負

文字の練習  
頑張ります!!  
桑野 翔

2024年  
の抱負

じやんしやとけんしや  
あいらそらじまか  
い村  
よしもと 悠太



2024年  
の抱負

タバコの本数を  
1/3程減らす?  
あと、体重も5kg程減らしたい  
田 淵 竜 法

2024年  
の抱負

皆と仲良く  
過ごします。  
小塚 拓斗

2024年  
の抱負

名前を覚えてもらう  
船田 雄貴

# あいむだより

前回132号の広報紙でもご紹介させて頂きましたが、あいむでは生産活動の一環で手芸品の制作に取り組んでいます。主に手先が器用なTさんがコースターや、巾着、ランチョンマット、ポーチ等、作り方の動画を視聴しながら上手に作られています。今回あいむの商品を初めて地域の販売会で販売させて頂きました。沢山の方に商品を手にとってみてもらうことができ、お客様より「かわいいですね。」「上手に作ってありますね。」と嬉しいお言葉を頂きました。また、新しい商品希望として「ファスナー付きのポーチが欲しい。」「大きなバッグが欲しい。」等、多くのご要望も頂きました。

現在、いただいたご要望やご意見を踏まえ、巾着と別に「蓋付きポーチ」と「大きなバッグ」の作製に挑戦しています。形が大きくなり、手芸パーツが増えると制作が難しく、苦戦することもあります。Tさんも職員に尋ねながら二人三脚で頑張っている最中です。

今後も新しい商品作りを行い、販売会にも商品を沢山並べられるように頑張っていきたいと思っております。今後もあいむの商品を「あいむだより」でご紹介したいと思います♪



Tさんが制作した  
手芸品



本町ふるさと祭り



こころす販売会



～新商品作製中～  
バッグ



～成人（20歳）を迎えられました～おめでとうございます～



中 彩乃さん



金子 甲斐さん



重村 佑京さん



渡辺 彩音さん



1月13日～18日、南海寮の原田公子看護師が、能登半島地震に伴う災害支援にJMAT（日本医師会災害医療チーム）の一員として参加してきました。

紙面の都合上、今号ではご紹介のみとなりますが、次号で詳しくレポートしたいと思います。